

洗足学園音楽大学教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学のカリキュラム・ポリシーは次の通りです。

大学
【教育課程編成の方針】 （１）教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。 （２）教育課程の編成に当たっては、深く専門の学芸を教授し、その応用的能力を展開させるとともに、幅広く深い教養及び実行力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮する。 【教育課程実施の方針】 （３）「卒業認定・学位授与の方針」に定めた、卒業時までには修得すべき知識・技能等が、カリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかについて、学生が理解しやすいように配慮する。 （４）学生の主体的で活発な学修意欲を促進する立場から、社会的実践の機会を積極的に設定する。 （５）成績評価の公正さと透明性を確保するため、成績の評定は、各科目に掲げられた授業の主題・到達目標に向けた到達度をめやすとして採点し、評価の客観性を担保するため、総合的・多面的な成績評価を実施する。
音楽学部
音楽学部の教育課程は、少人数・双方向型の実践的な教育を基本とし、「専門必修科目」「専門選択科目（各コース）」「専門選択科目（全コース共通）」「一般総合科目」を通じて「卒業認定・学位授与の方針」に定める力を身に付けることができるように編成し実施する。 【教育内容】 （１）「専門必修科目」では、コースの専門分野に関する最も根本的な知識や技能を身に付ける。個人レッスンまたは少人数による学びを中心とし、学年制をとる。 （２）「専門選択科目（各コース）」では、コースの専門分野に関する応用的な知識や技能を身に付ける。グループによる学びを中心とする。 （３）「専門選択科目（全コース共通）」では、コースの枠を超えた横断的・多元的な学びにより音楽的素養を身に付け、その音楽的幅を広げる。 （４）「一般総合科目」では、豊かな人間性と実行力を備え自立した社会人として求

められる汎用的能力を身に付ける。

【教育方法】

- (5) 主体的な学びを保証するためのきめ細かな履修指導を行う。
- (6) すべての授業科目において授業と連動した活発な学修を促進するため、シラバス等を通じて事前・事後の学修課題を明確化し、単位の実質化を図る。
- (7) 学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く真に身に付けさせるため、年間履修登録単位数の上限を定める。
- (8) 卒業時までには修得すべき知識・技能等が、カリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため、カリキュラムマップで「卒業認定・学位授与の方針」で定められた知識・技能等との対応と、それら諸知識・技能等を修得する方法が理解しやすいように配慮する。
- (9) カリキュラムツリー・学修ポートフォリオの導入により、学生が自らカリキュラムを選択し、目標を立てて達成度を確認できるようにする。
- (10) アクティブラーニングを取り入れた教育方法を取り入れることを基本とする。

【評価】

- (11) GPA制度に基づく厳格な成績評価を導入することにより、学びの質を向上させる。
- (12) 実技試験においては複数の採点委員により公正な評価を行う。
- (13) 専門実技については、様々な形態による公開の成果発表の機会を設け、実践的な体験を通じて学修成果の向上を図る